

〔研究指導グループ一覧表〕

入学願書の提出に際しては、以下の研究分野一覧表を参照し、研究分野を選び、それを志望研究分野(志望指導教員)欄に記入してください。研究分野は第3希望まで記入することができます。

所属研究グループの決定は原則として、入学候補者の決定と同時になされますので、研究分野の選択は慎重に行ってください。すなわち、研究テーマだけでは当該研究グループの研究内容を正確に把握することは困難なため以下の表だけで志望研究分野を申請すると、想像とは異なる不本意な研究テーマで修士論文研究に従事せざるを得ないことがあります。このようなことが起こらないように、志望分野の担当教員と連絡をとるか、または下記に連絡をとり志望決定のガイダンスを受けてください。しかし、一方で、入学後に所属研究室を決めたいとする志願者も受け入れており、そのような場合は、志望研究分野(志望指導教員)欄に「志望未定」と記入してください。ただし、この場合、入学試験時点で志望者が集中した研究分野では受け入れが困難となることがあり得ます。

ガイダンス連絡先: 筑波大学大学院人間総合科学研究科 フロンティア医科学専攻長 久 武 幸 司

電話 029-853-3007

FAX 029-853-3483

Eメール frontier@md.tsukuba.ac.jp

基礎医学関連		
研究分野	教員名	研究内容
解剖学・発生学	高橋 智	①臍臓β細胞の発生・分化の分子機構の解明とその応用 ②マクロファージの分化・機能発現における Large Maf 転写因子群の機能解析 ③糖転移酵素遺伝子改変マウスを利用した生体における糖鎖機能の解明 ④新イメージング技術の開発による疾患解析と創薬
神経生物学	志賀 隆	①シナプス形成におけるモノアミンの機能解析 ②環境要因が脳と行動の発達に及ぼす影響の解析 ③重力ストレスが脳に及ぼす影響の解析 ④新規長鎖遺伝子の神経系における機能解析 ⑤神経変性疾患の分子レベルでの病態解明
診断病理学	野口 雅之	1) 前がん病変や背景病変を含めたヒト発がんの多段階分子発がん機構の解明 2) 初期病変のゲノム異常、非ゲノム異常を基盤にしたがんの発生・初期悪性化分子機構の解明と早期癌を対象にした創薬開発 3) 胎児性蛋白のがん診断・治療への応用
実験病理学	加藤 光保	①がんの発生・進展を促進するトランスフォーミング増殖因子β (TGF-β) 関連分子の機能に関する研究 ②3次元定量解析と生細胞イメージングによるがん幹細胞の分裂動態に関する研究 ③特殊環状ペプチドスクリーニング技術を用いたがん幹細胞標的治療の開発
腎血管病理学	長田 道夫	①腎臓病の発症と進展機構の研究 ②Podocyte の細胞生物学と糸球体障害 ③腎血管系の発生・分化の研究 ④慢性移植症の病態

研究分野	教員名	研究内容
システム神経科学	設 楽 宗 孝	①モチベーションと報酬期待の脳内情報処理メカニズムの研究 ②強化学習と行動決定の脳内メカニズムの研究 ③報酬価値情報のコーディングメカニズムの研究 ④視覚認識の脳内メカニズムの研究 ⑤情動と社会的行動の脳内メカニズムの研究
認知行動神経科学	松 本 正 幸	①モノアミン神経系が認知・情動・動機付け機能に果たす役割 ②価値判断の中樞神経基盤
神経生理学	小金澤 禎 史	①神経系による循環調節機構の研究 ②神経系による呼吸調節機構の研究 ③神経系による循環・呼吸調節と疾患との関連性に関する研究
行動神経科学	小 川 園 子	①情動行動および性・社会行動の神経内分泌学的基礎の解析 ②転写制御因子としてのエストロゲンレセプターが行動発現調節に果たす役割とその分子神経生物学的基礎 ③行動の性分化を制御する脳内メカニズムとそれに関わる遺伝・環境要因の同定 ④海馬と扁桃体の機能的構築についての行動神経科学的解析
生化学・分子細胞生物学	入 江 賢 児	①酵母と動物細胞におけるRNA結合タンパク質による遺伝子発現の転写後調節機構 ②RNA局在と局所的翻訳の制御機構 ③小胞体ストレス応答の制御機構 ④小胞輸送による前胞子膜形成の分子機構
生化学・遺伝子制御学	久 武 幸 司	①iPS細胞誘導の分子メカニズム ②脂肪細胞の分化機構 ③エピジェネティクス制御の分子機構 ④クロマチン修飾と転写調節機構
生理化学	大 林 典 彦	①低分子量 G 蛋白質 Arf6 の生理機能解析 ②シグナル伝達系をターゲットにした新規抗癌剤開発 ③病態の理解(臓器線維症、癌細胞転移・浸潤、色素形成異常、血管・リンパ管形成異常に着目)に向けたオルガネラダイナミクス研究
分子神経生物学	榭 正 幸	①神経発生と神経回路形成の分子機構 ②神経情報伝達の分子機構 ③ヘパラン硫酸と脂質メディエーターを介した新しいシグナル伝達機構

研究分野	教員名	研究内容
感染生物学(分子ウイルス学)	川口敦史	①インフルエンザウイルスの複製と種特異性・病原性発現の分子機構 ②宿主の自然免疫応答調節メカニズム ③クロマチンゲノムの構造と機能の解体と再構成 ④染色体転座と細胞がん化の分子機構
感染生物学(分子寄生虫学)	HO, KIONG	①寄生虫の遺伝子発現の分子機構 ②mRNAのキャップ構造を標的とした抗マラリア薬の開発 ③RNA修復に関わる修飾酵素の生理機能とその作用機構解析
免疫学	澁谷彰	①癌、感染症に対する生体防御機構の解明とその人為的制御法の開発 ②アレルギー・自己免疫病の分子細胞生物学とその人為的制御法の開発
遺伝医学	野口恵美子	①喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症などのアレルギー疾患の分子遺伝学 ②次世代シーケンサーを使用した遺伝病の解析 ③アレルギーに関わる免疫系分子の機能解析
分子遺伝疫学	土屋尚之	①ヒトの自己免疫疾患(全身性エリテマトーデス、ANCA関連血管炎、全身性強皮症、関節リウマチなど)の発症・臨床症状・薬剤応答性に関連するゲノム多様性の探索 ②HLAをはじめとする自己免疫疾患関連遺伝子と疾患を連結する分子機構の解析
ゲノム生物学	村谷匡史	①微量臨床検体のゲノム・エピゲノム統合解析を用いた発癌メカニズムの解明と新規バイオマーカーおよび治療薬標的分子の同定 ②血漿中セルフリーDNAおよびRNAのプロファイリングによる体内組織モニタリング法の開発と環境応答研究への応用
	山田朋子	ゲノムやトランスクリプトーム解析を用いた ①哺乳類の小脳における神経細胞の分化の研究 ②小脳における記憶と学習の分子メカニズムの解明
再生幹細胞生物学	大根田修	①幹細胞を用いた細胞治療法の開発 ②生体内における低酸素応答転写因子の機能解析 ③癌幹細胞とストローマ細胞の機能解析
幹細胞制御学	西村健	①リプログラミングにおける転写因子の機能解析 ②リプログラミングにおけるエピジェネティクス制御機構 ③安全かつ高効率な分化誘導系の開発
実験動物学	杉山文博	①遺伝子改変マウス作製技術の開発 ②生体機能解析のための遺伝子改変マウス開発

研究分野	教員名	研究内容
医学物理学	榮 武 二	①陽子線治療の高精度化に関する研究 ②中性子捕捉療法における線量計算システム開発 ③X線治療技術に関する応用研究 ④放射線治療の品質管理に関する研究 ⑤新たな放射線測定技術の開発 ⑥放射線防護に関する研究 ⑦画像診断技術を利用した生体機能情報の取得に関する基礎的研究
放射線生物学	坪 井 康 次	①がん細胞と正常細胞に対する陽子線の生物学的効果の研究 ②がん組織への放射線照射による腫瘍免疫賦活効果の研究 ③電離放射線によるDNA損傷とその修復機構の解明
環境生物学	熊 谷 嘉 人	①環境化学物質によるタンパク質の化学修飾を介した細胞内シグナル伝達とその制御 ②環境化学物質に対する生体応答・細胞防御
分子生物学	深 水 昭 吉	①代謝・メチル化を介した老化・寿命の解明(細胞・線虫) ②新しいメチル化・脱メチル化酵素の発見と生物機能の解明(細胞・線虫・マウス)
発生遺伝学	丹 羽 隆 介	①生殖幹細胞の増殖と維持を制御する器官間相互作用の研究 ②老化を制御する器官間相互作用の研究 ③創農薬を目指したケミカルバイオロジー
生体機能材料学	長 崎 幸 夫	①ナノメディシンの分子設計 ②薬物送達システム用キャリアの設計 ③再生医療用デバイスの設計 ④バイオインターフェースの設計
神経科学	柳 沢 正 史 船 戸 弘 正	睡眠覚醒制御の根本的メカニズムの解明 ①ランダム変異マウスを用いた睡眠覚醒を制御する遺伝子の大規模スクリーニング ②睡眠覚醒異常に対する新規創薬シーズの探索・医薬化学 ③睡眠覚醒に関与する神経細胞活動の可視化とその制御
分子行動生理学	櫻 井 武	①新規神経ペプチドの生理的役割の解明 ②情動に関わる神経回路と機構の解明 ③睡眠覚醒に関わる神経回路と機構の解明
睡眠学習学	坂 口 昌 徳	①記憶固定化における睡眠の役割を、光遺伝学を用いた睡眠段階特異的な操作で明らかにする ②成体で新生するニューロンの、記憶回路への取り込みにおける睡眠の機能 ③脳のニューロン再生に必要となる、新生ニューロンの既存回路取り込みのメカニズムの解明

研究分野	教員名	研究内容
脳機能発達学	林 悠	①脳の発達・老化に注目した睡眠の意義の解明 ②分子生物学・発生学に基づく睡眠の進化プロセスの解明
システムズ睡眠生物学	LAZARUS Michael	①睡眠制御因子としての動機付け行動の役割の解明 ②光薬理的睡眠制御ツールの開発 ③レム睡眠不足とジャンクフードへの欲求の関係 ④記憶固定のリスクファクターとしての低体温状態
創薬化学 有機化学	長瀬 博 杳村 憲樹	①オレキシン受容体に作用する薬物の設計と合成 ②オピオイド受容体に作用する薬物の設計と合成 ③オレキシンとオピオイドの薬理作用の解明
感染生物学(細菌学)	森川 一也	①グラム陽性細菌の感染戦略 ②ブドウ球菌の環境適応 ③宿主と細菌の相互作用
分子発生生物学	小林 麻己人	①造血幹細胞の形成機構 ②消化器系臓器の形成機構 ③酸化ストレスや細胞ストレスに対する生体防御 ④ゼブラフィッシュを用いた毒性学研究
産業精神医学・宇宙医学	松崎 一葉	①宇宙での想定外に強い資質の研究 ②健康生成論と首尾一貫感覚に関する研究 ③自然を活用したうつ病リハビリテーション
環境疫学	本田 靖	
マトリクス・幹細胞生物学 (TARA センター)	柳沢 裕美	①新規血管細胞外マトリクスの同定と機能解析 ②血管病を発症するノックアウトマウスの解析 ③血管壁におけるメカトランスダクションの分子機序 ④皮膚幹細胞ニッチの解析 ⑤上皮系幹細胞に対するマーカー検索
分子遺伝学 (理化学研究所)	石井 俊輔	①がんの発症メカニズム ②体細胞のリプログラミング ③ストレスによるエピジェネティック制御 ④発生・分化を制御する転写因子の研究
糖鎖生物学 (産業技術総合研究所)	成松 久	①各種癌診断のための糖鎖バイオマーカーの探索 ②免疫学における糖鎖機能の解析 ③ウイルス感染症における糖鎖機能の解析 ④IgA 腎症の原因究明と診断・治療技術の開発 ⑤ノックアウトマウス作成による糖鎖機能の解析 ⑥糖鎖構造解析技術の開発と応用

臨床医学関連		
研究分野	教員名	研究内容
腎臓内科学	山 縣 邦 弘	①慢性進行性腎疾患の成因、発症・進展機構の解明 ②各種腎疾患の早期発見法と予防法に関する研究 ③進行性腎障害の新たな治療法の開発 ④急性腎障害、慢性腎臓病の疫学的検討 ⑤腎疾患を中心にしたアウトカム研究
内科学・リウマチ学 臨床免疫学	住 田 孝 之	①自己免疫疾患(膠原病、リウマチ)発症の分子機構 ②自己免疫疾患の特異的制御 ③自己免疫疾患の遺伝子治療へのアプローチ
血液学	千 葉 滋 二 宮 治 彦	①造血器腫瘍(白血病・悪性リンパ腫)の発症機構 ②造血不全の発症機構 ③幹細胞治療のトランスレーショナルリサーチ ④巨核球と血小板産生 ⑤造血器疾患の検査診断学に関する研究
消化器内科学	兵 頭 一 之 介	①腫瘍内科学の基礎的・臨床的研究 ②がん薬物療法・分子標的治療の研究
	谷 中 昭 典	①ヘリコバクター関連疾患、及びNSAID潰瘍の病態研究 ②胃がん、大腸がんの予防に関する研究
呼吸器内科学	檜 澤 伸 之	①気管支喘息や COPD の分子遺伝学的研究 ②アレルギー疾患の増加における環境と遺伝の役割 ③呼吸器疾患における遺伝と環境に関する研究
	佐 藤 浩 昭	①肺癌化学療法に関する研究 ②呼吸器疾患における糖蛋白抗原の診断・治療への応用 ③高齢者肺癌の至適治療の探索
呼吸器・感染症学	石 井 幸 雄	①環境応答からみた呼吸器疾患発症の分子メカニズム ②アレルギー疾患バイオマーカーの探索 ③呼吸器感染症における宿主応答の分子メカニズム
循環器内科学	青 沼 和 隆 宮 内 卓 小 池 朗 本 間 覚	①不整脈の発生機序と治療法の確立 ②心行動態の評価法の確立 ③新たな心不全治療法の確立 ④動脈硬化の進展と血管内皮機能の関与 ⑤心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションに関する研究 ⑥安心安全な医療の確立

研究分野	教員名	研究内容
代謝内分泌学	島野 仁	<ul style="list-style-type: none"> ①糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の分子病態・エネルギー代謝、肥満とインスリン抵抗性の分子病態 ②動脈硬化症の発症機序とその遺伝子治療 ③発生工学的手法による病態モデル動物の作製 ④エネルギー代謝のセンシングメカニズムと転写調節機構 ⑤糖・脂肪・タンパク代謝における hub-metabolites とエピゲノム ⑥脳脂肪酸代謝と高次機能 ⑦膵臓β細胞の再生医療 ⑧脂肪酸の質の違いに視点をおいた各臓器の整理機能と病態 ⑨ナノテクノロジーを用いた新規生活習慣病治療
神経内科学	玉岡 晃	<ul style="list-style-type: none"> ①アルツハイマー病(AD)の分子病態学 ②神経筋疾患の形態学的・生化学的研究 ③神経変性疾患の分子生物学的・生化学的・神経病理学的研究 ④神経疾患の神経眼科学的研究 ⑤有機ヒ素中毒の臨床像、疫学、放射線学的所見に関する研究
皮膚科学	藤本 学	<ul style="list-style-type: none"> ①悪性腫瘍の発生機序、診断と治療 ②表皮角化細胞の分化と免疫学的機能 ③アトピー性皮膚炎の発生機序の研究
呼吸器外科学	佐藤 幸夫	<ul style="list-style-type: none"> ①肺腫瘍に対する胸腔鏡手術の研究 ②肺腫瘍に対する集学的治療の研究 ③肺腫瘍の遺伝子異常の研究 ④縦隔腫瘍の集学的治療の研究 ⑤胸膜腫瘍の集学的治療の研究 ⑥急性肺障害の発症メカニズム及び治療に関する研究
心臓血管外科学	平松 祐司	<ul style="list-style-type: none"> ①放射光微小血管造影技術の開発 ②大動脈疾患の遺伝子異常の研究 ③体外循環中の凝固・線溶・炎症の薬理的制御 ④心筋虚血再灌流傷害の発症メカニズムの研究 ⑤心膜架橋処理技術の研究 ⑥ビタミンKフリー納豆代用食品の開発 ⑦僧帽弁逆流の病態シミュレーション技術の開発 ⑧弁尖温存右室流出路再建法の開発 ⑨下半身静脈還流増加のためのリハビリテーションプログラムの開発 ⑩体外循環中の微小空気塞栓発生状況の解明 ⑪脂肪由来幹細胞を用いた血管再生医療 ⑫3次元心臓モデルの開発
小児外科学	増本 幸二	<ul style="list-style-type: none"> ①再生医工学的手法を用いた小児における臓器・組織の置換の研究 ②小児悪性固形腫瘍(がん)の発癌・進展に関する研究 ③消化管奇形の発生学的ならびに病理学、分子生物学、遺伝学的研究 ④天性横隔膜ヘルニアにおける低形成肺の治療的研究

研究分野	教員名	研究内容
消化器外科学	()	<p>1) 肝再生機構の解明: 血小板が果たすユニークな機能および老化血小板に着目した新規肝再生促進法を開発する</p> <p>2) 肝疾患に対する新規 drug delivery system の開発: 肝類洞内皮細胞を標的細胞とした新規 DDS 製剤を作成し、各種肝疾患に対する新規治療法を開発する</p> <p>3) 消化管創傷治癒機序の解明: 消化管吻合における治癒メカニズムを解明し、ハイドロゲルを用いた新規消化管吻合治癒促進剤を開発する</p> <p>4) 組織幹細胞と再生医療: ヒト胎盤組織など由来多能性幹細胞を用いて、生体内の臓器発生過程と細胞社会を模倣する、新規の消化器系組織の創出技術を開発し、再生医療への応用を試みる</p> <p>5) 難治癌発癌機序の解明と新規治療法の開発: 癌発生進展に関わる癌幹細胞、局所微小環境(線維芽細胞、血小板)、全身環境(肝 Kupper 細胞、血小板)の特性を包括的に解明する。さらに、それらに特異的に発現する糖鎖に着目し、今までの抗原-抗体反応とは全く別の、糖鎖-レクチン反応を利用した経済的な新規癌特異標的治療を開発する</p> <p>6) コンピュータ支援外科: 医工連携により外科手術を支援するシステムの開発と運用、コンピュータを用いた革新的外科教育システムの構築と運用を行う</p> <p>これらの研究を通して、消化器外科・臓器移植学の基礎的知識を習得し、将来的な新規治療を開発する上での着眼力・思考力を身につける</p>
脳神経外科学	松村 明	<p>1) 神経腫瘍学</p> <p>1)-1 神経腫瘍治療学分野: 中性子捕捉療法、陽子線治療の研究、腫瘍免疫療法(ワクチンなど)・遺伝子治療・光線力学診断および治療の研究</p> <p>1)-2 神経腫瘍診断学分野: 脳腫瘍(グリオーマ、小児脳腫瘍、頭蓋咽頭腫など)の分子マーカー・遺伝子解析研究、術中モニタリング(MEP など)、画像の研究(術中 MRI、トラクトグラフィー、PET など)</p> <p>2) 脳血管障害: 脳虚血に対するナノ粒子を用いた脳保護療法と幹細胞治療、血管内治療における再狭窄予防、脳酸化ストレス評価</p> <p>3) 神経画像を用いた脳機能・循環・代謝解析(functionalMRI, MR spectroscopy, 拡散テンソル画像, PET)</p> <p>4) ロボットスーツHALを用いた神経機能回復、Brain machine interface</p> <p>5) 機能的脳神経外科(てんかん、不随意運動、疼痛、頭痛の治療)</p> <p>6) DDS による遺伝子治療、再生医療(血管新生骨再生)</p> <p>7) 小児脳神経外科(神経管閉鎖不全症に対する早期胎内分子診断マーカーの確立)</p> <p>8) 新規医療機器/デバイス開発(レーザー内視鏡、内視鏡手術デバイスなど)</p>
整形外科	山崎 正志	<p>① 脊椎脊髄外科の臨床的・基礎的研究</p> <p>② 関節外科の臨床的・基礎的研究</p> <p>③ スポーツ整形外科の臨床的・基礎的研究</p> <p>④ 末梢神経損傷の臨床的・基礎的研究</p>

研究分野	教員名	研究内容
泌尿器科学	西山博之	①尿路悪性腫瘍学(前立腺がん、膀胱がんなど) ②排尿機能学 ③男性内分泌学 ④尿路結石などの研究 ⑤尿路感染症に関する研究
眼科学	大鹿哲郎	①視科学 ②眼光学 ③低侵襲眼手術 ④視覚関連QOL
聴覚平衡機能制御医学	原 晃	耳及びその中枢路の病態生理研究法、電気生理学的診断法、生化学的研究法などの原理とその手法を学習する。
顎顔面口腔外科学	武川寛樹	①口腔癌に対する新規分子マーカーの開発 (p63, GNT-V) ②miRNAを用いた口腔癌の診断・治療の研究 (miR203, miR155, miR205, let-7) ③歯髄幹細胞を用いた再生医療の研究 ④内科疾患に関連する口腔内細菌の研究 (非アルコール性脂肪肝疾患、糖尿病)
精神医学	新井哲明	①認知症および神経変性疾患の分子神経病理学 ②認知症の疫学研究 ③精神神経疾患の神経画像研究 ④うつ病の臨床・社会精神医学 ⑤自殺予防学
婦人周産期医学	() 濱田洋実	産科・婦人科領域の疾患・異常の診断、治療、予防に関する基礎的・臨床的研究を行う。婦人科癌、不妊症、生殖内分泌異常、胎児遺伝疾患・形態異常、母児感染、妊娠・分娩・産褥合併症、更年期障害などが主な対象である。 現在進行中の研究は次のとおりである。子宮頸癌の予防、婦人科癌の分子生物学、婦人科癌の新たな治療戦略、血栓塞栓症、出生前診断、胎児遺伝子治療、妊娠高血圧症候群関連遺伝子、胎児心磁図などである。
放射線診断学	南 学	①3次元 CT データを用いた新しい画像診断法の開発:特に Virtual endoscopy ②各臓器における画像—病理相関の研究 ③MRI を用いた新しい定性的・定量的評価法の開発
放射線腫瘍学	櫻井英幸	①放射線感受性の診断と抵抗性克服に関する研究 ②医用画像を利用した治療計画法の開発 ③粒子線治療を用いた新しい癌療法の開発に関する研究

研究分野	教員名	研究内容
麻酔科学	田中 誠	①動脈圧受容体反射に及ぼす麻酔薬・麻酔方法の影響に関する研究 ②人種によるオピオイド受容体の遺伝子多型の研究 ③各種疼痛機構の基礎医学的解明 ④麻酔薬が脳に及ぼす影響と年齢における多様性の解明
臨床検査医学	川上 康	①分子生物学的病態解析と新たな診断法の開発(内分泌腫瘍・アポタンパク) ②細胞の増殖調節因子に関する分子生物学的研究 ③ホルモン合成・分泌調節の分子生物学的解明
スポーツ医学	正田 純一	①肥満・生活習慣病に対する新しい運動療法の開発 ②肥満・生活習慣病の臓器脂肪蓄積に関する画像解析 ③肥満・生活習慣病の糖鎖バイオマーカーの開発 ④新しい肥満・生活習慣病モデルマウスの開発 ⑤運動により誘導される抗酸化ストレス防御系の賦活化 ⑥運動により誘導される発がん抑止機構の解明
	竹越 一博	①遺伝情報を用いた運動療法のオーダーメイド化 ②アンチドーピングの研究 ③運動とホルモン、特にカテコールアミン ④運動とストレスマーカー、特にクロモグラニンA (体育系大森教授と共同研究)
臨床薬剤学	本間 真人	①薬物代謝酵素・輸送タンパクの遺伝子多型解析による薬効評価 ②治療薬物モニタリングによる薬物の効果と副作用の解析 ③漢方薬の薬物速度論的解析
救急・集中治療医学	井上 貴昭	①敗血症性ショック、循環不全の分子病態学 ②呼吸窮迫症候群、多臓器不全の分子病態学 ③中毒の分子病態学 ④せん妄の分子病態学
臨床研究地域イノベーション学	橋本 幸一	①生活習慣病の予防に関する研究 ②地域イノベーションに関する研究 ③橋渡し研究支援人材の育成研究 ④実践的技術経営論研究 ⑤効率的橋渡し研究推進のためのプラットフォーム構築と改良
地域医療教育学	前野 哲博	①プライマリ・ケア領域における臨床研究 ②地域医療の充実に関する研究 ③地域ヘルスプロモーションに関する研究 ④臨床医学教育に関する研究

公衆衛生学、ヒューマン・ケア科学関連		
研究分野	教員名	研究内容
国際発達ケア: エンパワメント科学	安 梅 勅 江	①コミュニティ・エンパワメントに関する研究 ②生涯発達の可塑性と関連要因に関する研究 ③保健福祉システムに関する研究
高齢者ケアリング 学	松 田 ひとみ	①高齢者に対するナラティブ・ケアの生理学的意義と効果 ②認知症高齢者の生活リズムの調整に関する研究 ③介護家族の QOL に関する研究 ④高齢者の感染予防に関する研究
	橋 爪 祐 美	①高齢者ケアに関わるジェンダー問題、介護する中年夫婦の協力体制 ②富山型デイサービス ③地域ケアとケア従事者、家族 ④モンゴル国の地域ケア ⑤質的記述的研究法(グラウンデッド・セオリー法)
ヘルスサービスリ サーチ	田 宮 菜奈子	①ヘルスサービスリサーチ(特に高齢者および小児) ②地域における医療と福祉の連携 ③介護保険制度の政策評価 ④高齢者および障害者の在宅・施設ケアの質の向上のための研究 ⑤法医公衆衛生学(高齢者・小児虐待・孤独死・サービス関連死の実態など)
疫学	我 妻 ゆき子	①疫学の理論と方法の開発およびその応用に関する研究 ②医学統計および医学情報に関する研究 ③各種疾患の疫学研究 ④医学領域における社会調査研究 ⑤臨床試験(クリニカルトライアル)に関する研究 ⑥途上国で問題となる重要疾病のコントロールに関する研究
社会精神保健学	斎 藤 環	①児童・思春期における非社会的問題行動の研究 ②児童・思春期の発達障害と不適応 ③精神障害者の社会復帰の研究
	森 田 展 彰	①被害者の精神健康、心的トラウマ関連障害の心理療法 ②家族間暴力(ドメスティック・バイオレンス・児童虐待、高齢者虐待、子どもによる親への暴力)への介入や支援 ③アディクション(物質使用障害、病的ギャンブリング、インターネット依存)の回復 ④司法精神医学・犯罪学
法医学	本 田 克 也	①法医学的 DNA 鑑定に関する研究 ②ミトコンドリア DNA 多型の解析 ③薬毒物の代謝ならびに中毒の機序解明に関する研究 ④内因性急死に関する分子解剖学的研究

研究分野	教員名	研究内容
国際社会医学	市川政雄	①グローバルヘルス研究 ②コミュニティデザインと健康 ③事故予防制御学
福祉医療学	柳久子	①生活習慣病予防、介護予防、高齢者の福祉医療 ②遺伝疫学、遺伝相談、生命倫理
保健医療政策学・ 医療経済学	近藤正英	①経済学の保健医療への応用 ②保健医療政策研究 ③グローバルヘルスの経済学
生活支援学	徳田克己	①子ども支援・保護者支援に関する研究 ②世界の物乞い障害者に関する研究 ③世界の墓地・墓石に関する研究
	水野智美	①バリアフリーに関する研究 ②子ども支援・保護者支援に関する研究 ③障害理解に関する研究